

# 入賞作品紹介 ③

【小学生「子の部」優秀賞】  
「幸せな福島の  
未来を新聞に」

伊達市・保原小3年

菅野 悠羽さん 9

毎日、新聞に原発のことが書かれていない日はありません。私の住んでいる町にも、放射性物質という目に見えない悪い物がふってきて、こわい病気にかかるかもしれないといど、みんな心配しています。さわやかな風が汚さ

れ、栄養たっぷりな土も汚され、キラキラ光る水も汚されました。

みんな悲しいなみだを流しました。でも、みんなが福島を元通りにするために、前を向いて歩こうという気持ちになつたって、みんなが幸せになります。

早く福島がきれいに福島に戻って来て、にぎやかな福島を取りもどしてほしいです。

て、私たち子どもの未来のためにはんぱって新聞にのるといいであります。そして、みんながが早く元気になるといいねと話しました。

おじいちゃんも、「東北があつこうしていくのを見たいなあ」と言っていました。一つの記事で、みんなで話していました。

【小学生「子の部」優秀賞】  
「私と新聞」

古殿町・古殿小4年

角田 祥子さん 10

暑い時も長そで長ズボンで登校しました。公園で遊べなくなりました。大切な友達は遠い所へ転校しました。おいしい野菜や果物が風評ひがいで売れなくなっています。福島の人は

私のねばさんは、時間があるとすぐに新聞を開くので、何でも知つていてかっこいいで

す。今年のお正月に会

ちゃんも、一日の終わ

りにゆっくりと新聞を

読む 学ぶ E!新聞

新聞を読みます。私の読みます。世の中の動きや事件などを知ることで訪れた人たちの写

うって、いろんなことを教えてもらつた時も、津波でひ害を受けた神社へ初もうい大人になりたいです。